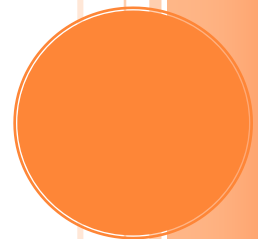


経理は一人だけ?

Importance of Adequate Segregation of Duties

*Presentation for
San Diego Japanese Business Association
February 17, 2016
Miyuki Freeman*



経理は一人だけ?

Importance of Adequate Segregation of Duties

San Diego Japanese Business Association (SDJBA) の会員には個人事業者が多くいらっしゃると思います。会社や事業の規模が大きくなるにつれて、従業員が増え、経済活動が活発になり、記録の量も格段に増えていきます。事業の一部門、あるいは関連業務そのものや事業運営を従業員に任せる機会が増えてくると思います。今日は、事業の出入金の記録・管理を従業員に任せる場合の注意点(のようなもの)をお話したいと思います。

SEGREGATION OF DUTIES

重要な注意点は役割分担を的確に行うことです。その際、役割を明確にします。事業の出入金の記録・管理において、重要な役割分担は以下の3つです。

- Segregation of Duties = 役割分担
- 1. Authorization 承認
- 2. Custody of Assets 管理
- 3. Independent Recording 記録

経理は一人だけ?

管理とは金庫番、記録は経理です。

商品購入の記録過程を例にして、この3つの役割を明確にしてみましょう。

発注した商品が届き、invoice も届きました。商品の代金を払わなくてはなりません。

1. 承認

商品が無事に届いたこと。invoice の額面が注文商品とあっているかを確認して、支払の了承をします。皆さんの事業の場合、社長さん。会社組織だと Chief Operating Officer です。

2. 管理

社長さんの承認を確認して、金庫・銀行口座からの出金手続き、お金の引き出しをします。Cashier, Treasurer.

3. 記録

これらの出費の経緯を帳簿に記録します。経理・Accountant, Controller がこの役割を担います。

販売過程を例にしてみます。

商品が売れました！ お客さんは代金をチェックで支払います。

1. 承認

売上額を確認して、入金を知らせます。皆さんの事業の場合は販売担当者になります。

2. 管理

受け取ったチェックを口座へ振り込み現金化します。入金・現金化を知らせます。

3. 記録

売り上げ記録を帳簿に記入。

月に一度ほど、金庫・銀行の口座残高と経理記録を突きつけ合わせます。これは記録担当の経理担当者が行っても差し支えありませんが、必ず他の人が突きつけ合わせの見直しをしましょう。

見直しは社長さんがなさるのが良いかもしれませんがね。

つぎは、役割分担ができていなかったら、どんなことがあるのか、考えてみましょう。

管理と記録の兼任

「うちは経理さんは超有能です。帳簿管理も銀行口座の出入金もしてくれる。毎月のBank Statementもチェックしてくれて大助かり！」

↑
管理と記録の兼任

兼任の危険

- 帳簿操作
- 銀行口座残高操作

→小切手は社長だけが切る！
→送金Orderも社長だけ！

経理は一人だけ？

「うちの経理さんは超有能で、一人で全部やってくれるので大助かり!」よく聞きそうなコメントですね。

でもこれ、実は大変危険です。同一人物が小切手やお金の管理と帳簿の管理をしていますから、出入金額と記入額を操作が可能です。つまり、事業口座から横領されてしまう可能性が大きいです。

ウチはまだ小規模だから、別担当に当てるほど従業員はいない…そこで社長の登場です！

チェックのサイン、送金 Order は社長さんだけができるようにします。

社長「今日のレジェンドの支払い、接待と称して会社につけちゃおう！っと」

↑
承認と管理の兼任

兼任の危険

- 未承認の出金

→経理「社長、2月のBank Statement,17日出金レジェンドって何ですか？承認済出金伝票回ってませんよ！」

経理は一人だけ？

別のパターンの兼任の危険例です。

承認と金庫番の役割を兼任した社長さん。でもこれはすぐに有能な経理さんにみつかってしまいますね。

役割分担をさせるほど従業員数がない場合

- 社長が積極的に分担役割に参加する
- 社長が適切な監視を行う
- 経理の役割を数年に一度くらいの割合で交代する
- チェックの入金を受付係や秘書に頼む

経理は一人だけ？

役割分担をさせるほど従業員数がない場合、どうやって分担を機能させるか？

経理・銀行管理に社長さんが積極的に役割の一つを担うことで、従業員による兼任を防げます。そして、社長さんがこの分担された役割の一部になることで、適切な監視を行うことにもなります。

月に一度は銀行口座の Statement と帳簿のチェックをしましょう。従業員が準備したものを見直すことでもいいです。Statement を見るとき、不自然な出金がありませんか？そんな見直し方もできます。

どんなにいい人、頼れる人でも同一人物に何年もわたって帳簿・口座の管理をさせない。

スピーチプログラムのサマリーは以上です。